

トピックス topics

第27号
H24.3

京	農	業	会	議
都	だ	よ	り	
発行 京都府農業会議 〒602-8054 京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2 京都府庁西別館内 TEL:075(441)3660				

- p 1 ◆2事例目 モデルファームが誕生
◆南北2カ所で農業委員さんが交流
- p 2 ◆きょうと女性農業委員の会
各ブロックで特長ある活動を活発化
◆第21回農業委員会広報コンクール開く
- p 3 ◆平成23年度農業委員会委員等表彰
- p 4 ◆常任会議だより、出版案内ほか



協定を締結した北久保地区山内区長(左から3人目)と関電労組岡本執行委員長(右から3人目)。関係機関も一丸となって取り組みを支援することが確認されました。



背後に山林を控える北久保集落の農地

集落のパートナーは、大企業の労組

2事例目 モデルファームが誕生

地域の農家だけでは保全が難しい農地を、農外の多様な活用団体に有効利用してもらうモデルファーム運動の2例目の協定調印式が、3月1日、京都府庁で行われました。

今回、活用団体の関西電力労働組合京都地区本部を受け入れるのは、京丹波町北久保地区。戸数14戸の小さな集落です。

山田京都府知事や本会議の林副会長らの立ち会いの下、関電労組 岡本執行委員長と山内区長が相互に協定書に調印。

また、同時に両者で「森林の利用保全に関する協定」も結ばれ、森から農地へ境目のない維持保全活動が展開されることとなりました。

今後、組合員とその家族は集落と協働で裏山や農地の草刈り、間伐、広葉樹の植栽、ジャガイモの栽培、水路の清掃などの活動に取り組む予定です。

モデルファーム運動の推進主体である農業会議は、府内に5名の推進員を配置するほか、12月には農業委員さんなど地域リーダーを対象にした研修会を開くなどして、この運動を進めています。

「農業委員とついでできるいっしょは..」

南北2カ所で

農業委員さんが交流

新規就農者の支援や

農家への情報提供など幅広く

府内の農業委員さんが日頃の課題と取り組み経験などを交流する「農業委員研修・交流会」が北部ブロック(舞鶴市・1月20日(写真))と南部ブロック(八幡市・1月27日)の2カ所で開催されました。それぞれ70名、90名、計160名の農業委員に参加いただきました。交流会では、「今、地域農業と農業委員会に求められていること」と題して、福井県立大学の北川太一教授による基調講演が行われたのち、分科会に分かれ、地域における農業委員会活動のあり方についての意見・情報交換をしました。



北部のある分科会では、新規就農者や集落営農など参加者からそれぞれの地域の担い手が紹介され、農業委員としてできる支援について、話し合われました。



京都市内で開かれた全体研修会

各ブロックでは、体験農園の運営(京都・乙訓・宇治)、地産地消、農産加工(綴喜・相楽)、新規就農者、後継者への支援(南丹、中丹・丹後)などそれぞれの地域課題を反映した特色あるテーマで情報交換されました。

また、東京都で開かれた「女性農業委員活動推進シンポジウム」(3月)に参加するなど、全国でのつながりもできつつあります。

きょうと女性農業委員の会

府内4ブロックで特長ある活動を活発化

7月の農業委員統一選挙により、「きょうと女性農業委員の会」の会員は44名となりました。

9月の総会で乾清絵会長(京都市)が就任し、新しい役員体制がスタートしています。

すでに府内4ブロックでそれぞれ2回ずつの研修交流会を開催したほか、2月には京都市内で全体研修会が開催されました。

これまでの主な取り組み

(9月～)

9月

- きょうと女性農業委員の会臨時総会

10月

- 第1回ブロック別女性農業委員研修交流会(～11月)

11月

- 農地相談センター 出張相談(～2月)
- 第2回ブロック別女性農業委員研修交流会(～12月)

12月

- 全国農業委員会会長代表者集会
- 第21回京都府農業委員会広報コンクール審査会

平成24年

1月

- ブロック別農業委員研修・交流会

2月

- 農業会議役員等会議
- 平成23年度農業委員会委員等表彰審査委員会
- 農の雇用事業に係る研修・説明会

3月

- モデルファーム、モデルフォレスト 協定調印式
- 女性農業委員活動推進シンポジウム

全国の農政活動にも参画

「農業委員会会長代表者集会」に代表参加

—TTPPなどで要請行動—



全国の農業委員会の会長が集う全国農業委員会会長代表者集会(主催:全国農業会議所)には、京都府を代表して11名の農業委員会会長らが出席しました(写真)。

集会では、食と農業の再生に向けた要請決議やTTPP交渉参加撤回を求める要請決議などが採択され、衆参の議員会館を訪れ、与野党の地元選出国会議員に対して要望活動を行いました。

広報コンクール開く

業委員会の広報活動がますます活発に!!

平成23年に京都府内の農業委員会が発行した広報紙のできればえを競う「第21回京都府農業委員会広報コンクール」では、京丹後市農業委員会の「京丹後市農業委員会だより」が金賞に入賞、6年連続でトップの座を維持する快挙となりました。

「第21回広報コンクールの結果」

- ◆金賞「京丹後市農業委員会だより」
- ◆銀賞「南丹市農業委員会だより なんとん」
- ◆銅賞「京都市農委だより」
- ◆奨励賞「うじたわら農委だより」
- 「きょうたなべのうぎょう委員会だより」
- 「まいづる農業委員会だより」
- 「農業委員会だより よさの」

さらに、全国農業会議所主催の全国農業委員会広報コンクールに京都府代表としてエントリーした「きょうたなべのうぎょう委員会だより」が善戦。このほど、全国でNo.2の「優秀賞」に輝きました。

これらコンクールの表彰式は3月28日開催の京都府農業会議第105回総会で執り行われます。



紙面もカラフルな3賞の入賞作品

「農の雇用事業」が
より手厚く、取り組みやすく

平成24年度は 4回募集予定

新規就農を増やし、将来の農業を支える人材の確保が急務となっていることを受け、農業会議が実施する「農の雇用事業」は、来年度から、重要な支援策として、リニューアルされます。

事業対象要件の大幅な緩和や支援期間の延長など、より取り組みやすく、手厚い内容となった24年度分は4回にわけて募集される予定ですが、すでに行われた第1回目の募集では、9経営体から12名の研修生の応募がありました。

「農の雇用事業」は平成21年から農業会議を窓口を実施されてきており、これまでに、京都府内で49経営体で取り組まれ、研修生として指導を受けた雇用者はのべ131名にのぼります。

農業会議の担い手支援は、個別訪問で親切、丁寧

スペシャリスト派遣

平成23年度も多くの担い手に活用いただきました。

農業会議では、担い手支援策の一環として、税理士や中小企業診断士、社会保険労務士などの専門家集団（スペシャリスト）を現地に派遣し、個別相談を実施しています。今年度からは、スペシャリストに加え、意欲ある農業者や集落営農の法人化を専門に指導する4名の「法人化請負人」も配置し、より綿密な支援活動を展開しています。

中小企業診断士による農家レストランの経営や商品開発、ホームページの専門家による観光農園の宣伝方法、社会保険労務士による雇用についての相談など平成23年度中も、多くの経営者の方々に活用いただきました。

「一対一なので、疑問に思うことを遠慮なく聞けて、丁寧にわかりやすく教えてもらえる」とたいへん好評です。



農業法人で指導する社会保険労務士(京丹後市)

農地利用を広く府民に呼びかけ

農地相談ブースを設置

農業会議に設置

する「京都府農地相談センター」では府民や企業に対して広く農地の利用を呼びかけるため、関係農業委員会の協力を得て、以下のとおり、農業祭など各地の催



「京の農林秋まつり」(京都市)での相談。市民農園の利用や農地の新規取得などについて、相談者があいつぎました。

平成23年度農業委員会等表彰 京都府知事表彰に15名、農業会議会長表彰に45名

京都府農業会議では、3年に1度の農業委員統一選挙の年度に、農業委員や本会議会議員として功績のあつた方々を表彰する「農業委員会委員等表彰」を実施しています。

今年度は京都府知事表彰15名、農業会議会長表彰45名の方々が表彰されます。誠にありがとうございます。

- 〈京都府知事表彰受賞の皆様〉(敬称略)
- 玉川勝太郎(京都市) 今井 義弘(京都市)
 - 渡邊源太郎(京都市) 梁川 伊一(京都市)
 - 北谷龍次郎(京都市) 小泉 博(天山市)
 - 林 善嗣(京田辺市) 木原 治男(京田辺市)
 - 北窪 敦美(南山村) 人見 保夫(南丹市)

し会場に相談ブースを設置し、農業参入等の出張相談を展開しました。

- 11月3日…京田辺市産業祭(京田辺市)
- 11月5日…京の農林秋まつり(京都市西京区)
- 11月20日…せいか祭り(精華町)
- 12月16日…きょうと農業ビジネスフェア(みやこめっせ)
- 2月23日…京都ビジネス交流フェア2012(パルスプラザ)



- 三田彌壽信(与謝町) 小向 昭雄(伊根町)
- 奥田 富和(京都府農業会議)
- 中川 泰宏(京都府農業会議)
- 河村 律子(京都府農業会議)
- 〈農業会議会長表彰受賞の皆様〉(敬称略)
- 面田 修(京都市) 澤野井清麿(京都市)
- 宮崎 良三(京都市) 三浦 定夫(京都市)
- 築坂 晃(向日市) 西小路重幸(長岡京市)
- 吉嶋 永(長岡京市) 島 義實(天山市)
- 水谷 修(宇治市) 菊岡 政次(城陽市)
- 古川 徹(城陽市) 北口 幸雄(城陽市)
- 小嶋 信彌(久御山町) 長村 諭(八幡市)
- 松島規久男(八幡市) 長村 善平(八幡市)
- 中島 嘉久(京田辺市) 中村 英夫(京田辺市)
- 西村 和俊(京田辺市) 西村 重男(笠置町)
- 濟藤 正広(和束町) 松尾 純一(精華町)
- 竹内 清(精華町) 山脇 英富(亀岡市)
- 榎本 良明(綾部市) 大山 勇(綾部市)
- 四方 克代(綾部市) 菊田 哲夫(福知山市)
- 足立 進(福知山市) 大槻 登(福知山市)
- 芦田 勝善(福知山市) 梅原 均(福知山市)
- 曾根 茂延(福知山市) 森川耕一郎(宮津市)
- 香山 誠一(与謝町) 宇野 明忠(京丹後市)
- 鴨田 忠司(京丹後市) 由村 幹夫(京丹後市)
- 藤本 和久(京丹後市) 立野 定(京丹後市)
- 藤原 秀夫(京都府農業会議)
- 河津 英範(京都市・職員)
- 芦田 陽生(京都市・職員)
- 伊吹 学(和束町・職員)
- 笹岸 里香(京都府農業会議・職員)

会議員の異動

〈1号会議員〉

京丹波町・再任 白樫 貢

常任会議だより

農地法等諮問案件の審議のほか、次の課題を協議しました。

第359回常任会議 (9月)

協議

①平成24年度京都府農林施策と予算に関する要望(案)について

報告

①農地法第3条許可の権限移譲について

第360回常任会議 (10月)

協議

①TPP交渉への参加反対を求める組織対応について

第361回常任会議 (11月)

報告

①TPPをめぐる動きと組織対応について

第362回常任会議 (12月)

報告

①農業会議の農業法人対策について

第363回常任会議 (1月)

協議

①平成24年度京都府農業会議事業計画(骨子)について

報告

①農業委員会・農業会議に係る国の平成24年度予算案について

第364回常任会議 (2月)

協議

①平成24年度京都府農業会議事業計画案について

②第105回総会の運営と提出議案について

報告

①平成24年度京都府農林関係予算案について

【農地法諮問案件の審議件数】

(9~2月)

第4条 24件 7,414㎡

第5条 96件 95,285㎡

計 120件 102,699㎡

〈会議員現地調査7件〉

9月20日(京田辺市)、9月22日(与謝野町)、10月20日(福知山市)、10

月20日(宮津市)、12月14日(福知山市)、1月16日(綾部市)、2月7日

(木津川市)

出版案内

『まんが農業者年金で未来を拓く』

●農業者にわかりやすく年金制度を解説した年金加入推進に不可欠の一冊



コード23-32 200円

『農業者年金関係用語集』

●難解な用語が使われている農業者年金制度を理解するにあたって、とても役立つ用語集です。



コード23-25 500円

『改訂版 新・農地の法律早わかり』

●農地法、基盤強化法、農振法、市民農園整備法、特定農地貸付法について、図解によりわかりやすく説明されています



コード23-18 800円

●引き続き全国農業新聞の普及拡大をお願いします。

これまでから農業委員、並びに事務局職員の皆様には、全国農業新聞の普及拡大に大変なご努力をいただいております。

平成23年度については、府内で目標部数の3,500部には届かない結果となってしまいましたが、地方版の維持のためにも引き続き、ご協力を御願いたします。

